

電動工具で組み立てカンタンシリーズ  
キーホルダーや認め印など

# 玄関の小物を 1カ所にまとめる 「キーボックス」を作ろう

家族それぞれのキーホルダーをはじめ、玄関に置いておきたい小物を、こんなキーボックスで1カ所にまとめておくと、玄関まわりがスッキリおしゃれに片づきます。電動工具があれば組み立てカンタン。あなたも作ってみませんか。制作の指導は、ホームセンターしまんぞマルヒラ木材団地店。電動工具協力は松下電器産業(株)の「マイジョイ」シリーズです。



ホームセンターで  
こんな材料を用意しましょう



【電動工具】①充電パワーカッター  
②充電ドリルドライバー  
③充電インパクトドライバー  
【木材・用具】①木材(アカマツ集成材) ②ドライバーピット(下穴あけ用、木工用、プラス) ③ノコギリ ④L型フック(足長洋折) 5個 ⑤木ネジ(4.0 mm)  
⑥船筆 ⑦木工用ボンド ⑧カネヅク ⑨丸棒(8 mm) ⑩ワンタッチマグネットキヤッチ(2枚扉用) 1組 ⑪ミニ蝶番(3.6 mm) 4個 ⑫水性ニス ⑬ハケ  
⑭ステンシルセット(型紙、絵の具、スポンジ筆、絵筆) ⑮研磨ブロック

電動工具があればラクラク組み立て！

# 手作り大好きな母と娘の女性コンビがトライ 玄関のインテリアを一新する「キーボックス」作り



●アドバイザー

ホームセンターしまんぞマルヒラ木材団地店  
D I Yアドバイザー／新坂上店長(左)、今徳次長(右)

●隈元由美さん・黎ちゃん(11歳)／鹿児島市

最初に、組み立ての手順の説明を受けて、作業開始！



サイズをはがって、木に印をつける黎ちゃん。

**電動工具は母、アシストは娘の絶妙コンビで役割分担**  
今回、パコマD-I-Y教室に参加したのは、日頃は、このホームセンターしまんぞマルヒラ木材団地店のガーデニング売り場で植物苗を担当している隈元さんと、夏休み真っ最中の黎ちゃん親子。隈元さんは、もともとD-I-Yが大好きで店内でも電動工具を使うこともあり、「いつも読者として見ているパコマのD-I-Y教室に一度参加してみたい」と興味いっぱい。小学6年生の黎ちゃんも、「夏休みの宿題のお手本になりそう」とお母さんのお手伝いにやつて来ました。

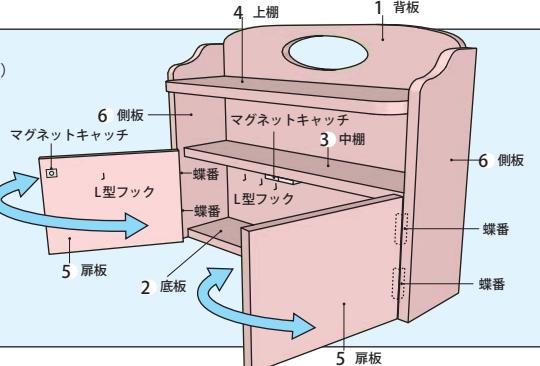
アドバイスも、同じお店の先輩・後輩どうしなので、最初から和気あいの雰囲気でスタートしました。最初は、木を直線カットするパワー・カッターの使い方を教わって、隈元さんがトライ。図面通りにサイズをはかつて、木に印を付けるのは黎ちゃんの仕事。親子の息ぴったりで作業はスムーズにはがどります。日頃ドリルドライバーを使い慣れている隈元さんも、パワーカッターは初ライ。でもD-I-Y大好きなだけあって、すぐに使い方に慣れ、「こんなに便利だとは使ってみるまでわかりませんでした。ノコギリに較べたら力が全然要らないし軽くて持ちやすく、スピードも速いですね」と驚きの声。木のカットが終わったら、よいよ組み立て開始です。



寸法図(単位ミリ)



背板に吊り下げ金具を付けると壁掛けにもできます。



背板に吊り下げ金具を付けると壁掛けにもできます。

「キーボックス」の作り方

7 研磨ブロックで木の表面や角をなめらかに磨く。



5 (接着部分に木工ボンドを付けてから) 下穴をあけた位置に、インパクトドライバーのプラスピットで木ネジを締める。



8 蝶番で扉を付け、扉の内側と本体にワンタッチ・マグネットキャッチを付ける。



9 扉の内側にキーホルダーを吊す型フックを付ける。



10 ステンシルで好きなデザインの模様を付ける。絵筆で自由に描いてよい。



11 仕上げに水性ニスを塗る。



1 木材に図面通りにスミ入れして、直線部分をパワーカッターでカットする。曲線部分はジグソーでカットする。(ホームセンターでカットしてもらえるところもあります)



2 組み立ての順序

①背板と底板 ②中棚と背板 ③上棚と背板 ④本体と側板 ⑤蝶番で扉を付ける。①～⑤を以下の手順で組み立てる。

3 木ネジを締める位置にスミ入れして、ドリルドライバーの木工ピットでダボ穴を開ける。



6 ダボ処理をする。(ダボ穴に木工ボンドを入れ、丸棒を入れて、木の表面に合わせてノコギリで切り取る)



4 ダボ穴の中心に、ドリルドライバーの下穴あけ用ピットで下穴を開ける。



お母さんと楽しく会話しながら、  
ステンシルで模様をつける黎ちゃん。

インパクトドライバーは  
使い慣れているので、作業はスイスイ。



ドリルドライバーでバツフルに  
木ネジを打ち込んでいくお母さん。

ていますが、このマイジョイは、コンパクトで女性の手にنجみやすく使いやすいです」と隈元さん。

木ネジを締める位置には、木工用ドリルで穴を開けてから木ネジで締め、その上に丸棒を入れてダボ処理をしますが、隈元さんは慣れた手つきでとても要領よく作業を進めていきます。木工ボンドを付けたり、丸棒を入れてノコギリで切つたりするのは、黎ちゃんも器用な手つきでお手伝い。「さすが親子、黎ちゃんも上手だね」とアドバイザーの二人も感心しています。組み立てが終わったら、サンドペーパーで磨き、ステンシルでの模様付けや、水性ニスを塗つたりするのは黎ちゃんのひとり舞台。



ダボ打ちは、ノコギリを使って黎ちゃんが中心にやりました。

